

平成17年度事務事業評価表

担当	建設部	道路管理課	内線等	2264
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	道路占用並びに公共用物の使用事務事業				
根拠法令等	道路法、蒲郡市道路占用条例、蒲郡市公共物の管理に関する条例		A(法令)	B(条例)	C規則	Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのある街づくり	道路

②事務事業の内容

対象(受益者)	市民に対して
手 段	道路占用、公共物使用の許可を行うことによって
想定する成果	限られた道路空間等を、有効的に利用する。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
道路、公共用物占用使用料	35,640千円	35,036千円	33,313千円
占用件数	426件	437件	426件
使用件数	107件	108件	107件

④成果指標

成果指標名	①	②
道路、公共用物占用使用料	1件当たりの占用使用料	
成果指標の説明	道路、公共用物占用使用料	年間占用使用料/年間占用使用件数

⑤事業の進捗状況 (一般 会計)

(千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標	計画	—	—	33,133
	① 実績	35,640	35,036	—
成果指標	計画	—	—	63
	② 実績	67	64	66
事業費	事業費	66	64	66
	人件費	12,054	12,066	11,934
	(人数)	1.5	1.5	1.5
	合計	12,120	12,130	12,000
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	12,120	12,130	12,000
	一般財源			

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	道路空間を有効に利用できた。
経済効率性	3	3	投入された予算に十分見合った成果をあげている。
事務効率性	3	3	投入された予算に十分見合った成果をあげている。
必要性	3	3	道路占用、公共用物使用については、電柱・電線・上下水道管の埋設等があり、市が実施すべき事業である。
小計	12 / 12 満点中	12 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	道路占用等市民要望に対応する。
合計	14 / 15 満点中	14 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
不法占用物件の設置を未然に防止するため、道路パトロールを月2回実施している。	

⑧今後改善すべき点

一部市道を不法占用しているものがあるので、速やかな除去に取り組みたい。

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	建設部	道路管理課	内線等	2270
事業コード		事務事業名	街路樹木管理事業	
根拠法令等	道路法第42条	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	道 路

②事務事業の内容

対象（受益者）	市道全般に対して
手 段	街路樹木の剪定、消毒、草取りをすることにより
想定する成果	交通の安全確保及び、病虫害の駆除、道路環境の向上を図る。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
管理路線数	52路線	54路線	55路線
剪定・消毒委託料	10,412千円	9,032千円	5,356千円
樹木管理本数	3,132本	3,201本	3,061本

④成果指標

成果指標名	①	②
	管理路線数	管理樹木数
成果指標の説明	管理路線数	管理樹木数

⑤事業の進捗状況（ 一般会計 ）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	55路線
	実績	52路線	54路線	—
成果指標 ②	計画	—	—	3,061本
	実績	3,132本	3,201本	—
事業費	事業費	18,115	15,741	16,400
	人件費	1,607	1,609	1,591
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	19,722	17,350	17,991
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	19,722	17,350	17,991

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	ほぼ目標どおり進捗している。
経済効率性	2	2	無剪定路線をさらに拡大していきたい。
事務効率性	2	3	投入された人員にほぼ見合った成果をあげている。
必要性	3	2	道路の維持管理業務である。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	一部の市民が自宅前等の植樹木の草取りをしてくれている。
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	この事業をさらに効率的に行うには市民に自宅前等をお願いしていく必要がある。
------	---	---	---------------------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成17年度の街路樹木の剪定作業を管理本数全体の約3%を無剪定とし、経費の節減を図った。	1,200,000円

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度から街路樹等の定期的な農薬散布が禁止されたため、病害虫の発生をいかに防ぐかを検討していく必要がある。 協働まちづくりの見地から樹木管理について市民ボランティアの協力を検討したい。
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	建設部	道路管理課	内線等	2270
事業コード		事務事業名	凍結防止剤散布設置事業	
根拠法令等	道路法第42条	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	道 路

②事務事業の内容

対象(受益者)	市道全般の凍結しやすい場所に
手 段	凍結防止剤を設置及び散布することにより
想定する成果	路面凍結時における円滑な交通の確保を図る。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
設置箇所	51箇所	52箇所	52箇所
延散布日数	2日	3日	4日
散布量	50袋	150袋	200袋

④成果指標

成果指標名	①	②
	延散布日数	散布実績(量)
成果指標の説明	延散布日数	散布実績(量)

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	4日
	実績	2日	3日	—
成果指標 ②	計画	—	—	200袋
	実績	50袋	150袋	—
事業費	事業費	299	423	450
	人件費	804	804	796
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	1,103	1,227	1,246
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,103	1,227	1,246

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	雪にそなえる事業であるため早目の対応を行っている。
経済効率性	3	3	凍結防止剤の散布は通行する人をお願いしている。
事務効率性	3	3	投入された人員にほぼ見合った成果をあげている。
必要性	3	2	道路管理者が行う事業である。
小計	11 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	凍結防止剤の散布をお願いしている。
合計	12 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	蒲郡市で雪が積もる事は年に1回～2回ぐらいであるが、それゆえ市民の雪に対するそなえは乏しく交通が混乱する、それを防ぐために必要な事業である。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
業者による凍結防止剤の散布は極力行わず、使用した凍結防止剤の補給も職員で行っている。	

⑧今後改善すべき点

--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	建設部	道路管理課	内線等	2270
事業コード		事務事業名	橋梁耐震対策補強事業	
根拠法令等	道路法42条	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	道 路

②事務事業の内容

対象(受益者)	緊急輸送道路の橋梁及び新幹線と立体交差する跨線橋を
手 段	耐震補強することにより
想定する成果	災害時の緊急輸送道路の確保と新幹線の輸送の安全を図る

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
事業内容	設計委託料 2,257,000円 (西大塚跨線橋・第2鉄砲跨線橋) 工事費 21,315,000円 (記念橋・力川橋)	工事負担金 31,024千円 (西大塚跨線橋・第2鉄砲跨線橋)	今年度予定なし

④成果指標

成果指標名	① 事業の進捗率(事業費)	② 事業の進捗率(箇所数)
成果指標の説明	実施済事業費/総事業費(約2.4億円)×100 ※ 総事業費を平成16年度に事業を見直し約2.4億円に変更	実施済箇所数/耐震対策計画箇所数(18箇所)×100

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	—
	実績	22%	36%	—
成果指標 ②	計画	—	—	—
	実績	22%	33%	—
事業費	事業費	23,573	31,024	—
	人件費	1,607	804	—
	(人数)	0.2	0.1	—
	合計	25,180	31,828	—
財源内訳	国		17,050	—
	県			—
	市債			—
	その他			—
	一般財源	25,180	14,778	—

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	ほぼ目標どおり進捗しているが進捗率が低い事業である
経済効率性	3	2	平成17年度は国庫補助事業で工事施工し、事業費の55%の補助金をいただいた。
事務効率性	3	3	JR東海新幹線事業本部に業務を委託して行った。
必要性	3	3	地震はいつ発生するかわからないので、それに備える必要がある。
小計	11 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	0	0	
合計	11 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	災害時にそなえ緊急輸送路の確保及び新幹線の安全運行の確保は急務である。
------	---	---	-------------------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成17年度に新幹線の跨線橋の耐震補強工事を国庫補助事業で行った。	

⑧今後改善すべき点

<p>今後は工事費だけではなく、委託業務も国庫補助事業で行っていきたい。</p>
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

<p> </p>

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】